

第14回 水景フォトコンテスト 2022 選考結果

コロナ禍もすこし落ち着き、ひさしぶりの開催となりました。たくさんのお写真をお寄せいただきありがとうございます。弊社会長・香取良一、弊社フォトコンテスト係、国内外の美術館等で活動を展開する写真家・蔵真墨氏で写真を一点一点拝見し、選考いたしました。結果は下記の通りです。

【 最優秀賞 】

「青春グラフィティー」 井内未香さん撮影



夕日を背景に、水のかたちも高校生のポーズも決まっています。傘という小道具もぴったり合っています。夕暮れの限られたタイミングに合わせて盛りだくさんの画面をまとめ上げる演出力はお見事です。

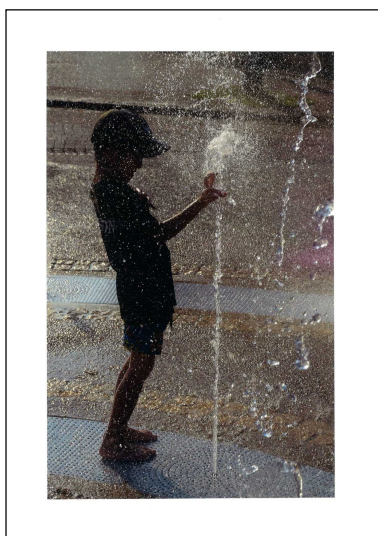
【 準優秀賞 】

「涼を感じながら」 坂巻ひとみさん撮影



噴水のある水景の中を二人の人物が自転車で通り過ぎようとしています。水景に包まれる日常のなかの貴重な時間を感じます。構図がゆったりしていながらも、まとまりがあり安定していて、見ていて気持ちが落ち着くような写真です。

【 佳作 】

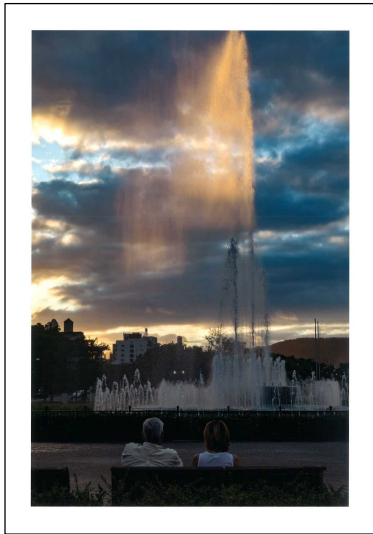


「噴水広場」

大岡雅人さん撮影

少年が噴水で遊んでいます。少年が噴水に触れることで水がかたちを変えて広がります。水しぶきが画面いっぱい広がります。

【 佳作 】



「秋の夕暮れ」

鴨野昭夫さん撮影

公園の噴水を眺めながらベンチに座って二人の人物がゆっくりとした時間を過ごしています。夕方の光と噴水のかたちが合わさって、幻想的な雰囲気もします。噴水はやっぱり和みますね。

【 佳作 】



「ハスの傘」

栗原達夫さん撮影

ハスを傘にして持つ少年の瞳がきらきら輝いています。ハスの葉に当たる水の動きもしっかり写っています。被写体の魅力をまっすぐに捉えて写すことは簡単なようでなかなかできないことです。

お寄せいただいたたくさんの写真をすべてご紹介することはできませんが、力作が多くありました。シャッタースピードの工夫で水の姿を楽しくとらえた作品、主題に寄ったり引いたりして画面を作っている作品、色味やコントラストの調整で作品をより良くしている作品もありました。

今回はたまたまシルエットの写真を多く選考しましたが、日中シンクロというシャドウ部を明るくする方法も面白いかもしれません。またの機会にさらに素晴らしい写真を拝見できることを楽しみにしております。

フォトコンテスト係